

宇宙科学・探査、有人宇宙活動に関する横断的な論点

- ① 宇宙科学・探査については、国際的にミッションの大型化が進行しており、国際競争の激化により我が国の優位性が失われる可能性がある。また、宇宙空間を巡る地政学的バランスが大きく変化中、米国は日本を含めた国際パートナーと民間産業とともにアルテミス計画を推進していく。こうした環境認識を踏まえ、我が国の宇宙科学探査・有人宇宙活動の在り方を提示すべきではないか。
- ② 宇宙科学・探査を通して新たな知の創造に繋がる世界的な科学の成果の創出を目指すべきではないか。限られたリソースの中で、独創的なアイデアを生み出し、特長ある技術を発展させるべきではないか。
- ③ アルテミス計画の下、民間商業活動を段階的に発展させながら、人類の活動領域を月以遠の深宇宙へと拡大していくべきではないか。
- ④ 我が国にとって、月面活動等のための技術実証等、地球低軌道活動の意義は引き続き存在することから、その必要な場と機会を確保していくべきではないか。